



新築の櫛島の消防小屋。モダンでカッコいい建物です



「櫛島が好きすぎて仕方がない」と話す古荘さん

## 本来あったものを取り戻して

「おばちゃん、変わりはなか？」。古荘さんが顔見知りの人に優しく声を掛けると、「あら直樹ちゃん、今日は休みかい」と笑顔で返事が戻ります。現在の櫛島地区の戸数は57戸。高齢化と過疎化が進む中、「櫛島に本来あったものを取り戻そう」と古荘さんたちは、さまざまな企画を立て地域を盛り上げています。

一昨年の11月から敬老会として



古荘さんが好きな場所「ハゼ山の湧水」(嘉島町)から眺めた櫛島地区の風景

始めたのが「櫛島ふれあいフェスタ」です。「櫛島緑地公園で運動会を開きました。綱引き大会が大盛り上がりでした」と振り返ります。春には、避難・炊き出し訓練も行われました。

「櫛島は地形が髪をとかす櫛の形に見えることから、その地名が付いたそうです」と言う古荘さんが「一番好きな場所」に案内してくれました。地区の南方に断層が走る「ハゼ山の湧水」(嘉島町)と呼ばれる場所には、清水が湧いています。そこから、櫛島地区が一望できました。



櫛島の「熊野坐神社馬祭り」で行われた子ども相撲(古荘さん提供)



昨年の敬老会で盛り上がったつなひき大会。昔は上と下で組を分けて開催されていたそうです(古荘さん提供)



櫛島の湧水プールで水あかりが行われました(古荘さん提供)



今日の出会いに感謝。

幼い頃、地元で祭りや催しが開かれると、胸が高鳴ったものです。

その日の東無田八幡宮には、遠い日の記憶をひもとさせる光景が広がっていました。餅つきをした男の子、餅を丸めた女の子たち。きつと、胸に甘い思い出として残ることでしょう。

### 散歩の終わりに

